

■ 市長から市民のみなさんへ

山陽小野田市長
白井 邦文



■ 扇風機の不要品はありませんか

今年も、担当課からたくさん(約 500)の今年度事業案が提出され、企画課、財政課の順に、その1件ずつヒヤリングを実施し、企画課は事業評価を、財政課は財源手当てについて検討を済ませたのち、改めて私も全ての部・課長に会って、両課の意見を参考にしながら概括的なヒヤリングを行い、その後、両課長の意見を聴きながら市長査定を実施しました。その結果を市議会の3月定例会に提出し、審議をお願いすることになります。

そのヒヤリングの途中、小中学校の施設整備に話題がおよんだ際、「緑のカーテンがあっても夏の暑さに耐えられず、児童・生徒があまりにもかわいそう」との学校側の指摘があり、何とかしたいとは考えましたが、教育委員会の助言もあり、とりあえず、市民のみなさんから不用品となった扇風機を寄付していただくことを考え付きました。

みなさんのお宅の倉庫に不用品となった扇風機はありませんか。希望は、背が高いか首を伸ばすことができ、首ふりのタイプです。1教室に4台あれば、児童・生徒も、まずまずの環境下で授業に打ち込むことができるのではないかと考えます。

お近くの小中学校へお運びいただくか、ご無理な場合は教育総務課(☎ 82-1208)へ電話をいただければ受け取りに参ります。どうぞよろしくをお願いします。

■ 厚狭駅南口の市営駐車場料金が値下げできそうです

開業以来、駐車料金は初日の上限額を1,000

円とし、その額を基準にして時間制で営業していますが、以前から「厚狭の駐車料金は高い。安くならないか」との声が多く、かねてより値下げを検討していました。しかし、駐車場の整備費が3億571万7,000円。そのうちの3億550万円が借金。借金の返済には料金収入を充てるため、これまでは料金を下げることがなかなかできませんでした。

しかし、借金の完済まであと3年。何とか料金値下げの目途が立ちましたので、4月から半額程度の値下げとなるよう、3月議会に議案を出す準備を進めています。昨年度は、収容可能台数184台に対し1日平均の利用台数は96台。稼働率は52%でした。今後は料金的大幅な値下げによって利用台数が増え、それがひいては新幹線利用者的大幅増につながり、やがて、厚狭駅に「ひかり」が停車することを期待したいものです。

■ 理科大の志願者が爆発的に増えています

理科大は、4月から公立大学に組織が変わります。昨年、すでに志願者は定員の7倍を超えていましたが、今年は何と、2月1日現在で、昨年の2倍以上。紙上の予想では「最終的な志願者数は4,800人程度になる」とか。かつて入学者が5割を割る年があったとは、とても信じられません。「公立になると授業料が下がる」だけでは説明できない諸要因があるはずです。急激に増えた志願者は何を求めているのか。みなさんと一緒に考え続けたいと思います。